

平成28年7月 定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成28年 7月28日(木) 開会 15時00分 閉会 16時23分

2. 場 所 福井市役所8階第3委員会室

3. 出席者 教育委員長 玉木 誠
教育委員 佐藤 藤枝
教育委員 木村 敦子
教育委員 春木 伸一
教育委員(教育長) 内田 高義

<事務局職員>

教育部長	村田 雅俊
少年対策参事官	小林 淳一
教育次長	倉 美幸
図書館統括館長	有田 康弘
教育総務課長	松浦 茂一
学校教育課長	吉川 雄二
保健給食課長	川上 順子
青少年課長	松田 幸治
スポーツ課長	村西 正明
文化財保護課長	天谷 賢一
図書館副館長	吉田 淳一
みどり図書館長	高間 明夫
桜木図書館長	白崎 卓
調整参事	西行 裕
教育総務課副課長	北 隆幸
生涯学習室副課長	嶋津 康弘
教育総務課主任	山本 恭唯
教育総務課副主幹	吉田 浩一

4. 説明のため出席した者

自然史博物館副館長 坂 靖志

5. 議 題

議 事

第4号報告 専決処分(福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱)の承認を
求めることについて

第5号報告 専決処分(福井市体育施設の管理運営に関する規則の一部改正)の承
認を求めることについて

第6号報告 専決処分(福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱)の承認を求めるこ

とについて

報 告

- (1) 6月定例市議会の質疑について
- (2) 福井市と福井市旅館業協同組合との教育振興に関する連携協定について
- (3) 福井市青少年問題協議会委員の委嘱について
- (4) 福井市体育施設の利用料金等に関する規則の一部改正について
- (5) セーレンプラネット（福井市自然史博物館分館）の現状について

6. 議事の経過

- (1) 開会、委員長あいさつ
- (2) 会議録署名委員の指名 佐藤藤枝 委員 春木伸一 委員
- (3) 議事の要旨

玉木委員長	まず、第4号報告 専決処分（福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱）の承認を求めることについて、事務局から説明を求める。
事務局 （青少年課長）	福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱について、福井市教育委員会所管事務委任規則第2条第2項の規定により、専決処分したので、その承認を求めるものである。資料の通り15名の委員を委嘱し、うち10名は新任で、任期は平成28年7月1日から平成30年6月30日までである。
玉木委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はないか。 — 特に意見なし —
玉木委員長	それでは第4号報告 専決処分（福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱）の承認を求めることについて、報告の通り承認することでご異議ないか。 — 異議なしの声 —
玉木委員長	第4号報告を報告の通り承認する。
玉木委員長	次に、第5号報告 専決処分（福井市体育施設の管理運営に関する規則の一部改正）の承認を求めることについて、事務局から説明を求める。
事務局 （スポーツ課長）	福井市体育施設の管理運営に関する規則の一部改正について、福井市教育委員会所管事務委任規則第2条第2項の規定により、専決処分したので、その承認を求めるものである。福井市北体育館に設置されていたクライミングウォールを撤去したので、条文中から関係する文言を削除するものである。施行日は公布日の6月29日である。

玉木委員長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はないか。</p> <p>— 特に意見なし —</p>
玉木委員長	<p>それでは第５号報告 専決処分（福井市体育施設の管理運営に関する規則の一部改正）の承認を求めることについて、報告の通り承認することでご異議ないか。</p> <p>— 異議なしの声 —</p>
玉木委員長	<p>第５号報告を報告の通り承認する。</p>
玉木委員長	<p>次に、第６号報告 専決処分（福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱）の承認を求めることについて、事務局から説明を求める。</p>
事務局 （スポーツ課長）	<p>福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、福井市教育委員会所管事務委任規則第２条第２項の規定により、専決処分したので、その承認を求めるものである。本審議会は、スポーツ基本法第３１条に規定する地方スポーツ推進計画並びに、その他スポーツの推進に関する重要事項を調査・審議するため、条例の定めるところにより設置された審議会であり、委員は１４名で、うち４名が新任である。任期は前任者の残任期間で、平成２９年８月３１日までである。</p>
玉木委員長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はないか。</p> <p>— 特に意見なし —</p>
玉木委員長	<p>それでは第６号報告 専決処分（福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱）の承認を求めることについて、報告の通り承認することでご異議ないか。</p> <p>— 異議なしの声 —</p>
玉木委員長	<p>第６号報告を報告の通り承認する。</p>
玉木委員長	<p>次に報告事項に移る。報告（１）６月定例市議会の質疑について、事務局からの説明を求める。</p>
事務局 （教育部長）	<p>６月定例市議会の会期は、６月６日から６月２９日までの２４日間であり、教育委員会関係で、今回議会に提出した議案は、「福井市体育施設条例の一部改正について」、「工事請負契約の締結について（森田小学校校舎増築工事、中藤島公民館移転新築工事、わかばテニスコート改修工事）」の４議案である。これらの議案については、５月の定例教育委員会において概略をご説明させていただいたもので、６月２９日の議会最終日において、原案どおり可決された。</p>

一般質問と予算特別委員会における質疑であるが、一般質問では全体として、20人の議員から76件の質問があり、そのうち教育委員会関係では、14人の議員から17件の質問があった。

— 以下、別冊資料にて一般質問の質疑の要旨を説明 —

予算特別委員会では、全体として5つの会派から44件の質問があり、そのうち教育委員会関係では、3つの会派から4件の質問があった。

— 以下、別冊資料にて予算特別委員会の質疑の要旨を説明 —

玉木委員長

ただ今の報告について、何か質問等はないか。

春木委員

本市の「学校のアレルギー疾患対応マニュアル」や、衛生管理マニュアルである「クリーんらんち」は内容を公表しているのか。

事務局

(保健給食課長)

公表していない。

春木委員

意見を求めるのであれば、公表したほうがいいのではないか。

事務局

(教育部長)

「クリーんらんち」などは、調理技師が調理する上での実務的なマニュアルであるため、特に公表していない。公表すること自体に問題は無いので、今後検討していきたい。

春木委員

放課後児童クラブについて、一部の保護者から開所時間ぴったりにならないと受け入れてくれないなど、時間に厳しすぎるとの指摘がある。

事務局

(学校教育課長)

指導員の勤務実態にもよるが、なるべく柔軟に対応していきたい。

木村委員

義務教育学校について、県外の義務教育学校から本市の小中学校に転校してきた場合、どのように対応されるのか。

事務局

(学校教育課長)

基本的には年齢相当の学年に入れることになる。例えば義務教育学校で5年生相当の子が6年生の勉強をしてきて、その子が転校してきた場合は、教科書が違ったり授業の進度に差が出てくるが、5年生の学年に入れることになる。

内田教育長

福井大学附属小学校と中学校が来年度に義務教育学校を目指しているそうで、全国では現在22くらいあるようだ。今後、全国の動きを見ながら、福井の子ども達にとってどのような形がいいのか検討していく必要がある。

木村委員	<p>学校教育について、部活動の外部指導者の質問があるが、外部指導者をお願いすることにより、先生方の負担を減らせる一方で、指導が行き過ぎる場合もある。質問された議員は、外部指導者を導入するメリットデメリットのどちらをイメージして質問されたのか。</p>
事務局 (保健給食課長)	<p>議員の質問は、部活動における教員の負担が大きいということで、その解決のためにという趣旨での質問だった。本市では年間約40人の方を指導者として委嘱しており、委嘱された指導者は県主催の研修会に参加し、指導のスキルを学ぶことになる。</p>
内田教育長	<p>そもそも何のために部活動を行なっているのか、という話にもなるのだが、国においても部活動は学校教育の一環として位置づけている。諸外国では学校の先生は勉強だけを教えているが、日本では給食指導や清掃指導なども行なっている。部活動指導も含めて、そういった行き届いた教育が、外国人から見た日本人のよさにつながっているのかなと感じる。</p>
玉木委員長	<p>子ども達は部活動がしたいのだと思う。本来は自主的な活動であるが、学校の施設を使うから管理監督する教員が必要となってくる。</p>
内田教育長	<p>学校によっては子どもの数が減少して、やりたい部活が無いという問題もある。</p>
玉木委員長	<p>他に何かないか。</p> <p>— 特に意見なし —</p>
玉木委員長	<p>次に報告（２）福井市と福井市旅館業協同組合との教育振興に関する連携協定について、事務局から説明を求める。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>福井市と福井市旅館業協同組合との教育振興に関する連携協定ということで、災害に関する連携協定などは、他の市町でも事例はあるが、こういった協定は全国でも例が無いものとなっている。内容は、本市に教育視察に訪れる視察者に対し、宿泊場所の斡旋をする代わりに、本市の小中学校がまちなかで校外活動する際、トイレや休憩場所を提供してもらうというものである。今後、さらに詳細を詰めて、8月19日に正式に協定を結ぶ予定である、</p>
玉木委員長	<p>ただ今の報告について、何か質問等はないか。</p>
春木委員	<p>福井市旅館業協同組合の会員数はどのくらいなのか。</p>

事務局 (学校教育課長)	駅前周辺を中心に２７のホテルと旅館が加盟している。
玉木委員長	他に何かないか。 — 特に意見なし —
玉木委員長	次に報告（３）福井市青少年問題協議会委員の委嘱について、事務局から説明を求める。
事務局 (青少年課長)	福井市青少年問題協議会委員の委嘱について、地方青少年問題協議会法に基づき、市長が任命、委嘱するものであり、１２名の委員中、９名が新任である。任期は平成２８年７月１日から平成３０年６月３０日までである。
玉木委員長	ただ今の報告について、何か質問等はないか。 — 特に意見なし —
玉木委員長	次に報告（４）福井市体育施設の利用料金等に関する規則の一部改正について、事務局から説明を求める。
事務局 (スポーツ課長)	５月定例教育委員会において、福井市体育施設条例の一部改正についてご審議いただいたが、当該条例の一部改正に伴い、関係規則の改正を行なうもので、体育館等にある会議室を単独に使用できるよう、「付属施設」から「専用施設」に改めるものである。
玉木委員長	ただ今の報告について、何か質問等はないか。 — 特に意見なし —
玉木委員長	次に報告（５）セーレンプラネット（福井市自然史博物館分館）の現状について、事務局から説明を求める。
自然史博物館副館長	セーレンプラネットの現状について、入館者数については、開館以来６月末の時点で５万１千人余りの方に入館いただいた。これまでのイベント等については、開館からこれまでの期間に、資料の通りのイベントを開催した。また市外を含め、２１の小中学校、高校等が見学に来ている。９月以降、市内の４０校の小中学校が見学予定である。今後の予定については、夏休み期間のプログラム編成を変更し、新たに「子どもの時間」と「天文の時間」を新たに追加した。
玉木委員長	ただ今の報告について、何か質問等はないか。

玉木委員長	プラネタリウムの料金は番組ごとにかかるのか。
自然史博物館副館長	常設展については、1 回の入館料支払いで、その日は何度も再入場可能であるが、プラネタリウムについては番組ごとに入館料が必要となってくる。
春木委員	入館者数に対してのプラネタリウム入場者数は、だいたい3分の1程度であるが、当初からの思惑通りなのか。
自然史博物館副館長	プラネタリウムの中の席数は160席であるが、見やすい席に座って、ざわつきも無く楽しむには、だいたい席数の3割から4割ぐらいである。指定管理者もそのあたりを狙っているように聞いている。
玉木委員長	プラネタリウムの番組はインターネットで公表しているのか。
自然史博物館副館長	ホームページで公表している。
玉木委員長	常設展の横の部屋などは貸し出しているのか。
自然史博物館副館長	多目的室やドームシアターを有料で貸し出しすることが出来る。現在、婚活パーティや音楽の演奏会などの企画が、いくつか持ち込まれては来ている
玉木委員長	他に何かないか。
	— 特に意見なし —
玉木委員長	予定していた報告事項は以上であるが、他に何かないか。
事務局 (教育総務課長)	今年度第2回の総合教育会議を8月19日(金)午後1時30分から福井市役所8階第1委員会室にて開催するので、ご参加いただきたい。
事務局 (学校教育課長)	今年度の全国学力・学習状況調査の公表の考え方について、国から結果が通知されるのは8月17日、報道解禁が8月25日の予定である。8月定例教育委員会で結果の詳細について報告させていただくが、公表の内容として昨年と同様、全国平均や県平均を併記せず、福井市全体の教科ごとの平均正答率のみを公表し、また各教科(国語・算数・数学)の分析や、質問紙の内容についても特徴的な部分についてのみの公表を考えている。公表の方針として、福井市全体の教科ごとの平均正答率を示すことで、各学校の校長は自分の学校の状況が判断でき、保護者や地域に対して説明責任が果たせる。また子ども達は自分の成績が個表としてもらっているため、自分がどのような状況なのかという目安が付けられる。なお調査の目的が授業改善、学校改善であることから、学校ごとの平均正答率はこれまでどおり公表しない方針を考えている。

内田教育長	学校教育課長から説明があったが、最終的な判断はこの教育委員会で決めていただくことになるので、皆さんの意見を伺いたい。
春木委員	昨年の公表の際に、外部から意見などはあったのか。
事務局 (学校教育課長)	特に意見はなかった。
内田教育長	昨年に文部科学省の方針が変わり、教育委員会の了解があれば学校ごとの点数公表も認められたが、本市では点数を競うのが目的ではないということもあり、学校ごとの公表をしなかった経緯もある。
玉木委員長	他に委員の皆さんの意見はないか。
	— 特に意見なし —
玉木委員長	今年度は説明の通りの方針で公表することとする。
玉木委員長	他に何かないか。
事務局 (文化財保護課長)	7月18日から市内15の博物館施設を周遊し、福井ゆかりの文化歴史を学んでもらうスタンプラリーを実施している。入場料の割引やオリジナルグッズのプレゼントもあるので、お知り合いにご紹介いただきたい。
事務局 (図書館統括館長)	小中学校の夏休みに合わせ、子ども達の利便性向上のため、市立図書館および、みどり図書館の開館時間を30分繰り上げて9時30分から開館している。美山図書館においては、通常、月曜日と木曜日が閉館ではあるが、木曜日を開館しているので合わせてご利用いただきたい。また、8月11日は山の日ということで、国民の祝日は通常休館日であるが、夏休みでもあることから、5館全館開館する予定である。
自然史博物館副館長	夏季の特別展として「旅をするタネ」を開催中である。世界最大の種も含め、いろいろな種の展示や解説を行なっているので、ご観覧いただきたい。また8月11日の山の日には、自然史博物館を無料開放するので、この日も是非遊びに来ていただきたい。
玉木委員長	最後に事務連絡をお願いする。
事務局 (教育総務課主任)	次回の定例教育委員会について、8月25日(木)午後3時から、場所は福井市役所8階第3委員会室にて開催するので、ご出席いただきたい。

玉木委員長

以上をもって会議を終了する。

平成28年 8月25日

署名委員 佐藤 藤 枝

署名委員 春 木 伸 一

会議録作成職員 吉 田 浩 一